白老の未来を考える」をテーマに

編集室ルポ

高校生と町議会議員がざっくばらん

初の試み 町議会は、広報・広聴活動の充実を目的に例年、町民と議会懇談会を開催しています。コ ロナ禍に伴う中止もありましたが、本年度は何とか開催を、と検討した結果、初めての取り組みとして 町内で生活や通学をしている高校生との懇談が実現。白老について感じていることを聞いて議会運営の

北海道栄高校

参考にし、高校生に は白老を見つめ直す きっかけにしてほし い一との議員の思い に賛同した北海道栄 高校、白老東高校か

ら、1年から3年まで計19 人が参加、議員7、8人と 各校で懇談しました。

要望から発展的な意見へ

両校、生徒会役員などに 地元出身者を半分ほど加え た参加者で構成する配慮で

した。高校生らは初め少々緊張気味で、特に会場が議場だった道栄の生徒らは、自分の名前が入ったプ レートのある自席にびっくり。

懇談の始まりは高校生から、「街灯が少ない。あると何かまちに活気があるような気になる」 「カフェ やカラオケなどの店がない」「バスの便をよくしてほしい」「公園の遊具を増やしきれいにしてほしい」 「海のごみが多い」「高校生が気軽に集まれる場を整備してほしい」「卒業後、白老に住みたくても仕事 がない」「町を訪ねてくれた人にウポポイ以外の観光スポットを紹介したくてもできない」などと、編 集室でも予想していた通り、"要望的"な意見が多く出され、議員がそれぞれに熱心に応答しました。

その後はさすが経験豊富な議員団。「まちづくりのために皆さんの力を借りたい」との絶妙な誘導で、 意見交換も発展的なものになりました。その中から印象深かった高校生の意見、感想を紹介します。



- ■機会があればボランティアをしたい高 校生はいっぱいいます。
- ■町の行事で作品を展示してもらい、多 くの人が人に見てもらえてすごくうれ しかった。もっと地域と高校生が交流 し、一緒に何かできるきっかけを作っ てもらえれば。
- ■高校生が集まれるところ、例えばポロ トミンタッを高校生がプロデュースす るとか。
- ■白老を考えるきっかけになりました。 無い無いだけではなく高校生自身が考 え、自分の中でできることをしようと 思いました。
- ■高校生として白老のためにできることがいっぱいあるなと分かった。もっと白老のいいところを発見 していきたい。
- ■ウポポイに来た外国人などと学生がコミュニケーションをとれるよう、多文化共生を念頭に英語教育 **に力を入れるまちとして有名になれば**などと、若い世代自身の変革の必要性やまちづくりへの貴重な 提案がたくさんありました。

感心しきりの議員団 直球で攻める高校生に対し議員側も真摯に受け止め、そもそも議員を目指した 当時の思い、初心を披露する出席者もいるなど「もっと早く若い世代と懇談していたら、局面が変わっ ていたかも」と若いエネルギーを充電。双方で「すてきなまちづくりができたら」との思いを共有して いました。(9月28、29日)